

館

報 ほ う も ん

蓬田村公民館報58号

発行所
青森県東津軽郡
蓬田村大字蓬田汐越12
蓬田村公民館 TEL30番

印刷所
青森市古川美法27
(国際ホテルトナリ)
新印刷興業

第二回定例議会開催さる

昭和四十三年度第二回定例村議会はさる三月二十一日から八日間の日程で開かれ村政経過報告、議案説明、一般質問、監査報告のあと議案審議に入り、昭和四十三年度一般会計補正予算、昭和四十三年度当初予算等二十四議案を何れも原案通り可決し二十八日閉会した。提案可決された議案は次のとおり。



議案第十号、昭和四十二年蓬田村一般会計補正予算(第六号)追加補正予算額、一、八〇七千円
歳入歳出予算総額、九四、四〇三千円
議案第十一号、昭和四十二年蓬田村国民健康保険特別会計補正予算(第四号)
事業勘定追加補正予算額三、五八八千円、歳入歳出予算総額三、五八〇二千円。

直診勘定追加補正予算額二、〇〇〇千円、歳入歳出予算総額、一八、五四八千円。
議案第十二号、蓬田村議会議員報酬及び費用弁償額等に関する支給条例の一部改正条例について
議案第十三号、蓬田村特別職の職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について
議案第十四号、教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について
議案第十五号、蓬田村職員等の旅費支給条例の一部を改正する条例について
議案第十六号、蓬田村農業委員会委員の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例について
議案第十七号、蓬田村消防団条例を改正する条例について
議案第十八号、特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償

に関する条例の一部を改正する条例
議案第十九号、昭和四十三年度蓬田村一般会計予算
歳入歳出予算額、九七、七六五千円。
本年度事業として給食センター工事請負費並に備品購入費として、九、四一三千元を予算計上した。
議案第二十号、昭和四十三年度蓬田村国民健康保険特別会計予算事業勘定歳入歳出予算額三六、四五六千円、直診勘定歳入歳出予算額一六、四七七千円
議案第二十一号、青森県市町村税滞納整理組合脱退について
議案第二十二号、青森県自治会館管理組合の設立について
議案第二十三号、国有林野払下げについて
議案第二十四号、行政連絡員の報酬及び費用弁償に関する条例一部改正条例について

歳 出

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
1 議 会 費	5.772	4.872	900
2 総 務 費	25.706	21.845	3.861
3 民 生 費	9.074	8.603	471
4 衛 生 費	3.200	4.118	△ 918
5 勞 働 費	177	171	6
6 農 林 水 産 業 費	8.652	7.052	1.600
7 商 工 費	473	291	182
8 土 木 費	9.488	4.129	5.359
9 消 防 費	3.128	2.447	681
10 教 育 費	27.595	15.331	12.264
12 公 債 費	3.638	3.514	124
14 予 備 費	862	844	18
歳 出 合 計	97.765	73.217	24.548

歳 入 43年度一般会計予算 (単位千円)

款	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較
1 村 税	16.497	14.699	1.798
2 地 方 交 付 税	56.500	46.000	10.500
3 分 担 金 及 び 負 担 金	1.755	1.370	385
4 使 用 料 及 び 手 数 料	826	718	108
5 国 庫 支 出 金	8.713	4.157	4.556
6 県 支 出 金	4.123	1.737	2.386
7 財 産 収 入	10	10	0
8 寄 附 金	1.524	0	1.524
9 繰 越 金	4.500	3.500	1.000
10 諸 収 入	317	326	△ 9
11 村 債	3.000	.700	2.300
歳 入 合 計	97.765	73.217	24.548

ワアイー忙しジャ、もしれジャヤ
軒で雀が巣くずをくわい。
つくしの坊やが目を寛す。
河原の土手のふきのとう
花粉を散らして柳のネコチョコむ
せぶよう。

ワアイー忙しジャヤ、もしれジャヤ
オツチャもアツチャもオドにオ
ガ、
早くなわ引けビニール張るジャ
そこに罅あるノメクルな。
三十五日の箱入り娘
水田にハル日待ち遣し
ワアイーもしれジャ忙しジャ
三万石の夢のせて。

(一九六八、四、一三)

豊 水



成人になつた

伸びてゆく、育つてゆく、清らかな眼、未来への輝き、大いなる人生へ、羽ばたく音
若き求道者、自由と平和の灯を胸に永遠に消やすことなく、



連合婦人会総会

引続き婦人部総会

蓬田連合婦人会、四十三年定期総会を去る三月二十九日、蓬田において開催し、四十二年度収支決算、四十三年度事業計画、予算案を原案通り承認、役員を選出総会を終つた。

婦人会の役員及び会員が自動的に農協婦人部役員、会員になつておるのが特色と云いよう。

新役員

- 会長 坂本 清江(再)
- 副 武 井 きの(夕)
- 副 坂 本 と こ(新)
- 会 計 張 間 き よ(再)
- 副 小 鹿 う の こ(夕)

家紋調査結果

○先般蓬田中学校全生徒を対象にして、各家庭の家紋を調査したところ、次の様な結果が出てまいりました。

- 木瓜 六〇%
 - 偶立四つ目 二〇%
 - 丸に蔓柏 一〇%
 - 梅鉢 七%
 - その他 三%
- 以上の通り蓬田村内には木瓜類が多く次いで偶立四つ目、丸に蔓柏、梅鉢とか其の他いろいろ珍らしいものもありました。

第2回子供会

世話人研修会

去る三月十三、十四日の二日間雲谷青年の家にて研修会が行われた。

講師として県社教課佐藤圭一郎東青教育事務所西沢平一、佐藤芳男県社教指導員野倉かめよ氏をむかい研修内容は次の通り。

- 1 子供会の必要性と育成会のあり方
- 2 子供会活動のプログラム作成
- 3 楽しい集いの持ち方、歌唱指導
- 4 子供会育成の具体策について



子どものしあわせを考える 深刻な顔

村章懸賞募集

賞金 八千円

明治百年記念事業の一環として、蓬田村の「しるべ」村章を設定することになりました。

村民の皆様、老いも若いも奮って応募して下さい。

△設定の考え方

家にはその家を象徴する家紋があります。村でも村の伝統を誇り、自覚をうながし、よい人、よき村をつくる「道しるべ」として、つくることになりました。

△募集要項

- ① 平和の象徴として、玉松精神をあらわすもの
- ② 伸びゆく蓬田をあらわすもの、色彩は不要、画用紙八ツ切り、裏には簡単な図案説明、住所氏名、年令を記載すること。

〆切り期日 五月末日

宛 先 役場内公民館事務局

注 版權は公民館に属するものとする。

応募作品は返戻しない。

賞 金

入 選 作 品

- 一 位 五、〇〇〇円
- 二 位 二、〇〇〇円
- 三 位 一、〇〇〇円

花嫁修業を終る

蓬田村女子建設班

閉講式

昭和四十二年十二月二十五日より開催されていた。建設班も去る三月三十日閉講式を行った。

来賓には村議長を招き、班員二十名の出席により建設班教室において行った。

尚、このほか和洋裁編物の受講生には計四十五名の参加がありました。新年度は十二月一日より行予定です。



建設班員

蓬田第一・二子供会総会

蓬中において

春休みを利用して四月二日、午前九時三十分蓬中において蓬田第一、二子供会員（会長、武井きの）七〇名出席して合同総会を開いた。来ひんは坂本村長、森教育長、清水老人クラブ連合会長、坂本中学校教頭、世話人十五名出席をした。総会では会長の一寸の助言だけで子供たちは自主的に運営しその成長ぶりに来ひん、世話人たちを驚かせ総会を終った。

その後引き続き、教育委員会山館健の指導でレクレーションを行い、歌唱やゲームを楽しみよい子たちの一日を過ごした。



豊水放談 18

すずめ談議

△「雀」すずめ科の小鳥、おしやべり、すずめの涙、国語辞典にこうある。

流石は古い百科辞典、益鳥、農作物、森林の害虫を捕食する益鳥云々である。

秋になるまでは益鳥の本分をつくす。然し稔りの秋になると一変して害鳥の化身となる。群をなして稲田において一瞬のうちに空がみの乳穂を白くする。将に百姓の大敵となる。さまざま雀おとしをかけるも始めは効果があるが、二、三日すると平気の平左、光線を利用するテープを張りめぐらし

ても、パーテーの装飾とでも思つてか、おどしのドンを鳴らしてもなんかのリズムかの如く舞い踊つておるさまは実に小憎い。かすみ網でも張り一網打尽にして雀焼とシヤレ込むかとも思うが、狩猟法違反、仕末に困る。

△現代百科辞典は細く分析している。

一年を通じての食物の量的割合は、コメ、ムギ、アワ、ヒエなどの農作物三八・四%、野草の種子四六・六%、昆虫八・五%、その他六・五%である。この結果からみるとすずめの益性と害性は半々であるといえるが、八、九月頃巢立つたばかりのすずめの群が乳熟

期の早稲をあらしたり、早春に野菜類の新芽をついたりするほかはつきり確認することのできない害もあると考えられるので、適当な時期に駆除することが必要である。(池田真次郎)と記されている。一年の喰荒す量が書いていないので、三八・四%の実質量が判らないのがミソ。

△私たちのイメージとして残るものはなんとしても「舌切りすずめ」すずめのお宿である。のりを盗み喰いしたすずめが悪いが舌まてで切りだしてもいえないか、あまりに酷刑処分である。罪を憎んで人を憎まずの温情作家の童話らしい。とにかく害を与えることは事実で、現代の世相からして許しおけないシロ物であると思考す

よつて捕かく火あぶりの刑に処すべきであるとの論客もいる。ゲテ物喰いだからとおつしやる方もあるかも知れんが、ゲテグループの者なら無条件讀成、火あぶり刑法を成立さすことは差程困難とは思えない。

△「私、備前の岡山育ち」唄の文句に引かれたわけではないが、私はかつて岡山に半日近くぶらついたことがある。夕近く一杯に入つたらすこぶるよいにおいに鼻をつく、威勢のよい若い衆が向うはち巻で小鳥を焼いていた。ネタをきくとすずめと答えた。極めて珍らしい値段もきかず一杯のみながら着にはもつてこはだ、どうして手に入るのかきくと附近の農家で許可を得てカスミ網で捕え街に出し都人士のえさにしていることが判つた。農作物被害によ

る駆除しておるらしい。その頃の青森はなんのこともなく石油カンなどたたいて、原始的すずめ追いしているに過ぎなかつた。その施策の違いが情けなく思つた勘定する二十五羽喰つてのお焼酎三杯が含んである。安い、勿論昭和二十三年だから。

△昨年の秋、NHKテレビで三重県ですずめの駆除のさまを送つた。竹やぶに一夜の宿をとり安眠しておるところに奇襲作戦に出る。下に網を敷き村中総出動手に手に棒切れをもち、竹やぶに入り一勢に棒切れで竹の幹をたたき竹の二階におるすずめ族をふり落し下敷の網でからめ捕る作戦であつた。将に一網打尽の図だ。そのなきがらをどうするか心配した一人である。

その後、私用で三重の田園都市と云れる鈴鹿市に行き、竹やぶをみてこの辺でもすずめの駆除したところかと思つたのか、心なすかすずめの姿がうすいような気がした。帰り名古屋で時間があつた。近鉄地下街の小鳥やに入つたらすずめ焼が出ていた。どこ産かときくと三重だと云う。ふとあのときの状況が頭に浮び、なき鳥の処置が明かになつた。一串に二羽刺して一五〇円、岡山の頃とあまりのひらきに、今更乍ら物価上昇に對し、佐藤総理に小さな憤マンを覚

えた。△近頃外野がうるさい。すずめが騒ぐと酒落れる声をきくあ。うでもない、こうでもない、なんの益になるものでなし、つまらんことをおしやべりし楽しんで

すずめ族が増えたらしい。余程の暇人かみえれない。経済の豊さを物語るのかも知れない。「南無釈迦しや娑婆じや地獄じや苦しや楽じやどうじやこらじやというが愚じや」。一休の道歌と伝えられているがよく味合いたいものだ。国会の最中、今の日本は、親鸞の他力本願では駄目だ。自力本願云々と発言し、東、西本願寺の門徒の怒りをかい、五大新聞に謝罪せ、更に使者を立て謝罪文を届させて、やつとケリつけた大臣もある。同時にこんなバカな憲法があるから日本はどうにもならないとか

桜の敵テングス病退治

桜の敵はなんとしてもテングス病である。桜テングス病とは人間にたとえたらガンのようなもので、そのまゝはつておくとつばみを一つたことなく最後は枯れ死ぬことになる。病状は桜の枝に若芽が一つたまりに繁茂し成長を止め花芽の造成なく、花の咲かない桜になつて枯れ死してしまふ。(現代百科辞典)その病菌はどんな性質のものかどうして発生するか別の次にゆづるとして、先づこの病原を除くことによつて桜の生命を保つことになる。この辺の桜の名勝を云れておる傘松観音、旧中沢小学校グラウンド周囲の桜は近年テングスが大発生し、このまゝ放置しておくで懐減状態になること必然であると判断、中沢部落(長、坂本増吉)では部落委員総出し動てテングス退治出陣することになった。一日がかりで病気の枝は切り落され新しいよそほいをし雪とけてを待つて四月の末次美しい花を楽しませることになった。

